

神繩作戰ニ於テ歩兵第六十四旅團戰團經過概要
附部隊歴史概要

昭和二十二年三月二十五日

第三十三軍殘務整理部

同年七月十三日熊兵團之警備繼承之沖繩轉運、為新師團
近ニ集結シ八月五日出發上海ニ向ヒ同月十六日上海吳淞港
出發沖繩ニ向ヒ二十日那霸港ニ上陸ス

戰事經過概要

昭和十九年八月二十日沖繩本島上陸後本島中部
準備ニ任ズ其ノ兵力配備別紙一因、如シ
司令部ハ主陣地及豫備陣地ヲ構成シ主陣地ニ
陣地ヲ山内ニ設ケ兵力ニ分シ晝夜兼行陣地ニ
昭和十九年十月廿日未夕陣地半バ構築中沖繩ハ米軍
隊ノ攻撃ヲ受ケ六時頃ヨリ十六時頃迄主トシテ無
那霸港及停泊中ノ船舶ニ攻撃、重兵カ指向
此時司令部ハ喜舍場ニ在リテ對空射擊部隊ヨ
場山上一四八七高地ニ配備シ他ハ阻開蔽撤損等極
為ニ司令部ハ損害ナク旅團管内ニ於テ八十五大隊警備
中飛行場近クノ民家、燒失ニ三軒ヲ生セシタル外人員
ナカッタ
一〇一〇空襲ニ引續キ台湾沖航空戦ナリ、フイリッピン東方海峽
ニ及ビワイテレイテ島作戰カ行ハレタ為陣地構築ニ火拍車ヲ加テ
行ハレタ

同年七月十二日能兵團二警備繼承三才艦隊進、為新編
近ニ集結シ八月五日出發上海ニ向ヒ同月十六日上海吳淞港
出發神繩ニ向ヒ二十日那霸港ニ上陸ス

戰事經過概要

昭和十九年八月二十日神繩本島上陸後本島中部地ニ
準備ニ任ズ其ノ兵力配備別紙一因、如シ
司令部ハ主陣地及豫備陣地ヲ構成シ主陣地ニ喜合場
陣地ヲ山内ニ設ケ兵力ヲ二分シ晝夜兼行陣地ノ構築
昭和十九年十月十日未夕陣地半ハ構築中神繩八米隊五十八
隊ノ攻撃ヲ受ケ六時頃ヨリ十六時頃迄主トシテ飛行場新
那覇港及停泊中ノ船舶ニ攻撃、重兵カ指向セシク
此時司令部ハ喜合場ニ在リテ對空射擊部隊ヲ一小隊編成喜合
場山上ニ砲八七高地ニ配備シ他ハ阻開蔽損害極少ニ努
為ニ司令部ハ損害ナク旅團管内ニ於テ八十五大隊警備地域内
中飛行場近ク民家・焼失ニ三軒ヲ生セシタル外人員ニ六損害
ナカク
一、空襲ニ引續キ台灣神航空戦ナリ、フクリッピン東方海戦
ニ及ビワイチレレト島作戦カ行ハシク為陣地構築ニ一大拍車ヲ
行ハシタ

三ノ又三

知念半島に僅か二月、以て再び戦進一
一月三十一日一音に旅團八郡覇一團
大名一仲間一牧港(南端)に連なる
地、其に担任三防衛、主任は清蔵、
此の時三於ケル旅團軍隊已分左、
司令部(津返)外(中)西國民隊、
独機十四大隊(安波本)独連三二大隊、
中村海軍防空隊二小队、
中隊、
配屬下隊

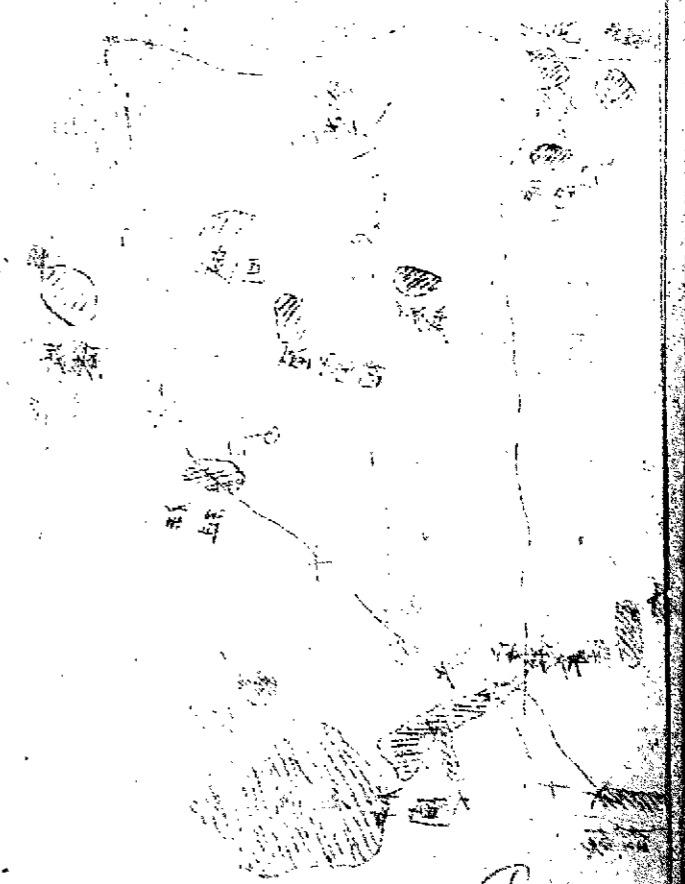
フイリッピニ戦線ノ悪化ニ續いて硫黄島
トナク夜トナリテテミレテ奮闘進出度

硫黄島ヲ制シテ敵機動部隊ハ九州南方
四國南方海上ニ移動其ノ後島ヲ南岸
奄美大島東方海上ニ現レテ不慮東方海上
ニ取リテ本島ニ近接空襲ヲ行ハシメ
此日三月三十一日

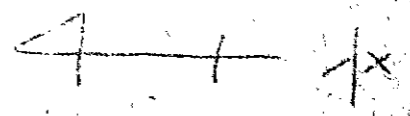


43 B

此二部
一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百



23 B



知念半島を僅か二月で以て再占領せしむ
一月三十一日一斉に旅團八那覇一國場川一仲井真一松川一末吉
一、大名一仲間一牧港(南端)一連又ル最モ主要敵上陸公首ヲ
地兵ヲ担任シ防衛ノ主任ヲ痛感シテ陣地ノ構築ヲ行フ
此ノ時ニ於ケル旅團軍隊ニ分左ノ如シ(別紙第三圖)(那覇)
司令部(澤下)一(中)西國氏(学校)一(城間)一(那覇)一(那覇)一
独機十四大隊(空)一(波茶)一(独)連三二大隊一(中)隊一(城間)一(独)本二七三大隊(空)一
中村海軍防空隊二小队一(独)直轄一小隊一(配)屬一小隊一

フイルロピニ戦線ノ悪化ニ續キテ硫黄島玉碎ニ陣地ノ構築ニ盡
トナク夜トナリテ行テミレテ奮闘進捗ノ度ヲ進メタ

硫黄島ヲ制シテ敵機動部隊ハ九州南方地ニ空襲シ續キテ
四國南方海上ニ移動其ノ後影ヲ消シテ居タガ厚ニ三月廿日突然
奄美大島東ノ海上ニ現レ本島東方海上南下後再ニ軸線ニ北
ニ取リテ本島ニ近接空襲ヲ行ハタ
此日三月二十日午前六時頃テアツタ

如ク終日ニ亘ル空襲が行ハレテ居ルカ本島ヨリ望見セラレリ
 三月二十三日敵機動部隊カ本島ヨリ同如ク近接シ先ッス高島ニ対
 艦砲射撃カ行ハレ午後ヨリハ漆州附近ニ移行サレ同日夕ニ高島
 岸ニ宇回シ艦カ水平線上ニ現レタ
 コレニヨリ敵機動部隊カ上陸作戰カ行ハルコトハ決定的ナリ
 甲号戰備下令セラレ部隊戰斗準備カ進メラレタ
 コノ時ノ旅團軍隊ニ介左ノ如シ

- 歩兵第六十四旅團司令部 中村防空隊一々小隊
- 高射砲隊第一〇三大隊
- 高射砲隊第八十一大隊一少隊
- 高射砲隊第二十二大隊二中隊
- 高射砲隊第七十九大隊 第一小隊
- 中村防空隊 一小隊
- 高射砲隊第七十九大隊 (一小隊欠)
- 歩兵第十五大隊
- 高射砲隊第一〇三大隊
- 高射砲隊第八十一大隊一少隊
- 高射砲隊第二十二大隊二中隊
- 高射砲隊第七十九大隊 第一小隊
- 中村防空隊 一小隊
- 高射砲隊第七十九大隊 (一小隊欠)

高射砲隊第八十一大隊 (一小隊欠)
 速射砲隊第三十二中隊
 獨立飛行隊第二十六中隊
 此外 獨立白砲隊第一聯隊 (一中隊欠) 四月十九日以降既屬

三月二十四日敵機動部隊ハ嘉手納湾近ク入り北飛行場ニ其ノ
 附近ニ對シ艦砲射撃カ行ハレ一方漆川附近ニ對シテモ終日砲撃
 カ行ハレテ夜軍ハ兵カラ二介スル為ニ作戦カ行ハレタ
 コレヨリ上野時迄ハ毎日繰返シテ上陸地ニ及撃及海岸機雷ノ
 破壊カ行ハレ數百隻ノ敵艦ニ包圍セラルヲ將兵ハ何時カノ一待
 ンテ居タ
 四月一日拂曉 嘉手納湾ニ望見スルニ敵艦船群集シ上陸企圖
 確實ナリ各隊ハ準備緊張シタ
 愈ニ滿潮時九時ニシヤ一勢ニ艦砲射撃カ水際陣地ニ對シテ
 行ハレタ
 此ノ状況ヲ澤田ハ八十二高地ヨリ望見スルニ仲西飛行場北端ヨリ
 波波岬ニ至ル間ノ水際陣地ニ砲撃カ行ハレ轟音ハ断絶ナク

様十且フテ想像シタコトナキ事イ状況デアツタ
 泰川附近ノ砲音又然リ敵空襲以來上陸進司令部ハ人
 負ノ損害ナク各部隊ノ損害モ亦勤ク將兵ノ志氣揚メ
 四月一日上陸以來飛行機ノ攻撃次第ニ増シ二日ハ澤部部
 民家ヲ全燃シ爆弾ヲ投下スル等積極的ニ攻撃ヲ行ハレタ

四月三日ニ至ルヤ敵ハ既ニ主陣地外大山ノ線ニ迫リ我カ連射砲為
 ニ戦車数輛ヲ擱座炎上号タル為我カ主陣地ナルヲ察知シ四月十八日
 ハ旅團ノ兵力モ殆ニ消耗セタムニ至リ大隊ノミカ攻勢ニ参加シタ為
 多クノ損害ヲ出シタリミテ未ダ志氣揚メタルモカアツタ

独歩十三大隊ノ嘉敷附近ニ戦ニ依リ兵力ノ消耗殆ニド戦死状
 況ニ依リ十三大隊ノ警備地ヲ二十三大隊担任スルコトナリ二十日
 交代スルコト定トナワテイタガ十九日より、本格的ノ首里攻撃ニ依リ
 十九日ヨリ嘉敷ニ於テ戦キス
 此ノ時二十三大隊長山本少佐ハ巧ニ部下將兵ヲ指揮シテ七五高
 地ノ嘉敷陣地ニ対スル敵ノ猛攻ヲ阻ニ又一方嘉敷國民學校南端
 三又路ニ於テハ完全ニ歩線ヲ分離シ怪心ト戦車ニ肉攻ヲ加ヘテ十
 数輛ノ戦車ヲ擱座炎上セシメ功ハ洵ニ大ニシテ一躍部隊長ノ名

四月十九日敵主陣地突破時ニ於ケル状況圖



敵司令部
 我司令部

様々且ツテ想像シタコトナク、
 泰川附近ノ砲音又然リ、
 負ノ損害ナク各部隊、
 四月一日上陸以來飛行機、
 民家ヲ全燃シ爆弾ヲ投下スル等積極的ニ攻撃ヲ行ハシメ

四月三日ニ至ルヤ敵ハ既ニ主陣地外大山ノ線ニ迫リ、
 二戰車數輛ヲ擱座美上号ニタル為、
 ハ旅團ノ兵力モ殆ビド消耗シタ、
 ヲナク、損害ヲ出シタ、
 既ニ主陣地外大山ノ線ニ迫リ、
 二戰車數輛ヲ擱座美上号ニタル為、
 ハ旅團ノ兵力モ殆ビド消耗シタ、
 ヲナク、損害ヲ出シタ、
 既ニ主陣地外大山ノ線ニ迫リ、
 二戰車數輛ヲ擱座美上号ニタル為、
 ハ旅團ノ兵力モ殆ビド消耗シタ、
 ヲナク、損害ヲ出シタ、

独歩十三大隊ノ嘉敷附近、
 況ニ依リ十三大隊ノ警備地、
 交代スル予定トナワテ、
 十九日ヨリ嘉敷ニ於テ戰車、
 此、時、十三大隊長山本ノ佐ハ巧ニ部下將官ヲ指揮シテ七五高
 地喜敷陣地ニ對スル敵ノ猛攻ヲ阻ミ又一方嘉敷國民學校南端
 三又路ニ於テハ完全ニ歩隊ヲ分離シ、
 數輛ノ戰車ヲ擱座美上セシムル功ハ尙ニ大ニシテ一躍部隊長ノ名聲

四月十九日敵主陣地突破時ニ於ケル状況要圖

敵國北方



全、先、公、敵、分、高、敵、行、ニ、
 三、戰、車、ヲ、擱、座、美、上、セ、シ、ム、ル、功、ハ、尙、ニ、大、ニ、シ、テ、一、躍、部、隊、長、ノ、名、聲、

様々且フテ想像シタコトナキ凄イ状況デアラウ
 漆川附近ノ砲音又然リ敵空襲以來上陸近司令部ハ人
 負ノ損害ナク各部隊ノ損害モ亦少ク將兵ノ士氣揚々ナリ
 四月一日上陸以來飛行機ノ攻撃次第ニ増シ二日ハ津山部隊
 民家ヲ全燃シ爆弾ヲ投下スル等積極的ニ攻撃ヲ行ハレタ

四月三日ニ至ルヤ敵ハ既ニ主陣地外大山ノ線ニ迫リ我カ連射砲ヲ
 ニ戦車数輛ヲ擧座美上号タル為我カ主陣地ナルヲ察知シ四月十八日
 ハ旅團ノ兵力モ殆ビ消耗セタムニ至リ大隊ノミカ攻勢ニ参加シタ
 ヲナシ損害ヲ出シタリミテ未ダ志氣揚々タルモカアフヲ

独歩十三大隊ノ嘉敷附近ニ戦ニ依リ兵力ノ消耗殆ビテ戦死状
 況ニ依リ十三大隊ノ警備地ヲ十三大隊担任スルコトナリ二十日
 交代スル予定トナワテイタガ十九日より本格的ノ首里攻撃ニ依リ
 十九日より嘉敷ニ於テ戦事ナ
 此ノ時十三大隊長山本少佐ハ巧ニ部下將兵ヲ指揮シテ七五高
 地嘉敷陣地ニ対スル敵ノ猛攻ヲ阻ニ又一方嘉敷國民学校南端
 三ノ路ニ於テハ完全ニ歩線ヲ分離シ怪心ト戦車ニ肉攻ヲ加ヘ十
 数輛ノ戦車ヲ圍座炎上セシム功ハ尙ニ大ニシテ一躍部隊長ノ名聲

四月十九日敵主陣地突破時ニ於ケル状況要図

敵主陣地



敵主陣地
 敵主陣地
 敵主陣地

高クナツタ一方收斂伊祖方面ヨリ主障地線ヲ突破シタ
 敵ハ探知城間北端ニ進出セリ
 愈ニ旅団モ本格的ニ戦キテ南端ヨリ
 山本部隊方面ハ状況有利ナレド西林部隊方面ハ有利ナラズ
 遠ニ主障地内ニ敵侵入セリコレニ依リ旅団ハ二一大隊長ニ対シ
 極力敵情報ヲ蒐集セシメタ
 此ノ時三一大隊長西林中佐ハ独力ヲ以テ敵ヲ撃退スルカヲト
 ノ返アリタル爲ニ旅團長ハ十九日ハ二十一大隊独力ヲ以テ攻撃マシ
 タレド成功セズ
 此ノ報師團長ニ報告スルヤ師團ハ独力ヲ以テ攻撃ヲスル様ニトシ
 命令アリタルヲ多ク旅團ハ西林部隊及飯塚部隊ノ二一大隊ヲ以テ
 計更ス
 戦キ地意ハ伊祖西端トシ左第一線ヲ西林右第一線ヲ飯塚部隊
 トシ攻撃ヲ開始ナレド西林部隊ハ城間北端附近屋高祖東方
 進出スルコトガ出来ナカワタ
 廿二日尙ニ互ニ戦キテ大言敵ハ消耗ナラセタ
 廿二日尙ニ互ニ戦キテ大言敵ハ消耗ナラセタ

一方飯塚部隊一部ハ伊祖一中隊ヲ伊祖城駐一ハ中隊ヲ伊
祖東方台の上ニカロウシテ突入シテノミニシテ徒ラ兵力消耗ヲ未
ズバカリナル故飯塚部隊ニ対シテ二十日再ビ旧警備地ニ退
退命令が出サレタ
残りニテ中隊ハ二十五日頃脱出多ク中隊兵力ハ三十名テアツタ
此ノ時伊祖洞窟ニ残リテイ
西林部隊火林軍匠大尉以下
衛生兵及患者モ共ニ脱出シテ一先澤原へ退ス

西林部隊ハ四月二十九日頃迄警備地ニ立トシテ城間三十二高地
及屋敷祖五十八高地ニ在リテ戦ヲ最後ニハ部隊長直轄指揮
スルモ敵名ニ消耗サシ多ク旅団ハ西林部隊ニ対シテ後退ヲ命ジ澤
原附近ニ於テ部隊ノ整理ニ努メタリ依ツテ西林部隊兵力ハ
百九拾名程ニ及ビ経塚附近ヲ警備ス時五月三日頃テアツタ
山本部隊ハ三月三十一日頃迄四月二十三日未明ニ至リ牧巻一伊祖方面ノ敵
深ク侵入スルヲメ戦線ヲ集結シ仲間北方台地迄後退ス

四月二十五日 西林部隊 飯塚市
上ノ山 飯塚市
外ノ山 飯塚市
外ノ山 飯塚市

飯塚市

飯塚市

仲向陣地ニ於テ二旬ル力戦奮斗ハ遂ニ感状

上旬感状ヲ受領ス
此間特設独立歩兵三大隊(海上挺進基地大隊)ニ
テ前度良間ニ在リテ艦船特攻陣地作業ハ
旅団三大隊等配属ニテリ而部隊共活ニ

五月七日頃而部隊共原隊復歸トシ山本部隊ハ五
ニ後退ス尚山本部隊ニ協力力戦シ村山部
ニ於テ敢斗ス

村山部隊ハ九日阿波茶ヨリ後退命令通信社
来ズ一日遅クテ五月十二日夜村山部隊長以下
後退ス此時村山部隊長ハ羣嶮北方凹地ニ於テ
戦死ス

部隊長任令某兵長ハ部隊長ハ團長ヲ持参シ左記如ク戦死ノ状
況ヲ報告ス
此時村山部隊ハ生存者ハ下士官以下数名ナルニテ